

環境コミュニケーション

リコーグループは、グリーンパートナーシップの考え方を基本に、より多くのパートナーとコミュニケーションを図ることにより、効果的な環境負荷削減を推進していきます。環境報告書の発行や、環境広告を制作・掲載することでも、環境負荷は発生します。そのためリコーグループでは、グリーンパートナーの環境負荷削減に役立つような情報開示と2ウェイコミュニケーションを心がけるとともに、グリーンパートナーからのご意見などを、グループ全体の環境保全活動に役立てています。

ステークホルダー(利害関係者)と情報開示手段の関係

対象 =		環境報告書	ホームページ	環境ラベル	環境広告
地球環境保全	内容と成果 ノウハウ共有	●	●		●
近隣住民		●	●		
お客様		●	●	●	●
投資家、株主		●	●		●
社員	考え方、安全衛生情報	●	●		
	社内啓発	●	●		

環境報告書

リコーグループは、1996年度の情報を開示した環境報告書を1998年4月に発行して以来、毎年継続的に報告書を発行してきました。1999年1月に発行した1998年版の報告書以降は、日本語版・英語版を用意し、幅広いグリーンパートナーの方々に情報開示を行うとともに、FAXアンケートで2ウェイコミュニケーション*を図ってきました。1999年からは、各事業所や関連会社でも環境報告書を発行。リコー福井事業所の報告書は「皆様方が安心してリコー福井事業所の近隣にお住まいになれること、また安心してリコーの商品をお使いいただけることをお伝えしたくて」制作されたもので、環境報告書賞の2000年度サイトレポート賞を受賞しました。

* 73ページを参照。

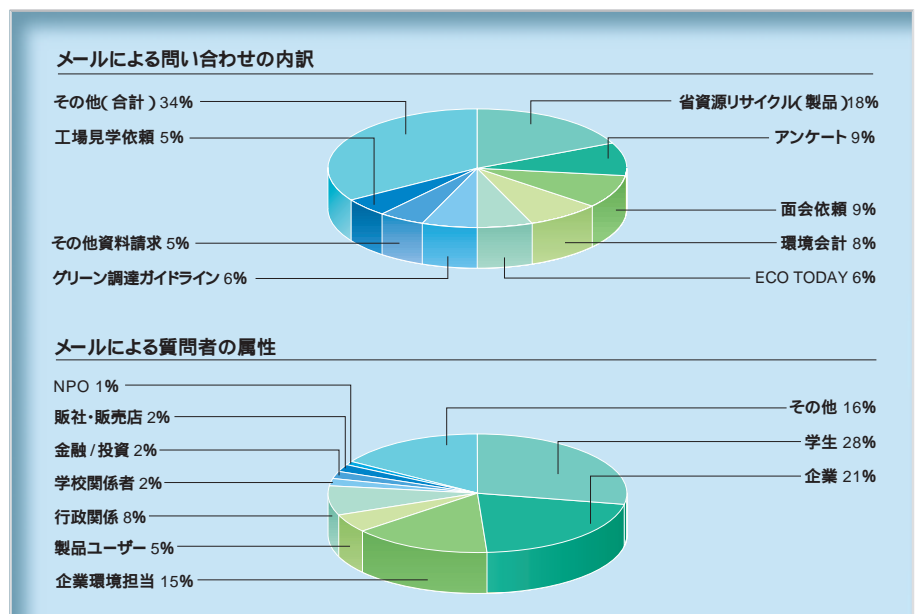


環境ホームページ

リコーの環境ホームページは、リコーグループの環境報告書をはじめ、最新の活動事例や、小中学生向けのECO TODAY*も閲覧できる充実した内容になっています。ECO TODAYは、リコーと専門学校生が共同で制作しているページで、身近なことを糸口に地球環境問題を説明するとともに、その問題に対するリコーの取り組みも掲載しています。2000年度のリコーの環境ホームページのヒット数は661,738件、環境報告書・環境カタログの請求・問い合わせは1,009件でした。eメールによる問い合わせは302件で、メールのやりとりから大学生・高校生とのミーティングを開催するなど、積極的な2ウェイコミュニケーションも図っています。

* 52ページを参照。

ECO TODAYのホームページ
<http://www.ricoh.co.jp/ecology/ecotoday/>



製品の環境負荷情報の開示

製品の環境負荷情報は、お客様が環境負荷の少ない製品を選ぶ際に、重要な判断材料になります。リコーグループは、1999年度に、日本で初めての第三者認証(スウェーデンBVQI)のもと、デジタル複写機 imagio MF6550のタイプⅢ環境宣言(ライフサイクル全体における定量的な環境負荷情報の開示)*を行いました。2000年度中にはファクシミリプリンターでもタイプⅢ環境宣言による情報開示を行う予定でしたが、計画は2001年度に持ち越されました。2000年度は、(財)産業環境管理協会のJEMAIプログラムのもと、他の複写機メーカーとともに、デジタル複写機 imagio MF7070の環境負荷情報を開示。2001年10月までに、5機種的主要なプリンターの環境負荷情報を開示する予定です。

* http://www.ricoh.co.jp/ecology/label/type3_2/index.html



タイプⅢ環境宣言

環境広告

リコーの環境広告は、グリーン購入を勧める自治体や企業の方々に製品の環境性能を説明したり、さまざまな立場で環境保全を推進する方々に役立つと考えられる事例を紹介するなど、グリーンパートナーの方々への働きかけを目的に制作されています。従来からの広告シリーズに加え、2000年度は、リコーがNPOとのパートナーシップで進める森林保全活動を事例に、生物多様性の保護の重要性を訴える雑誌広告を展開しています。



生物多様性や森林保全の考え方を訴える雑誌広告



製品の環境性能をお知らせする商品広告



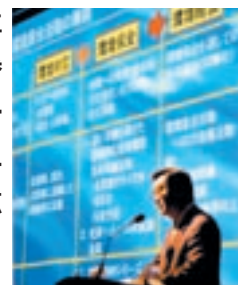
生物多様性や森林保全の考え方を訴える雑誌広告



環境活動の事例を紹介した雑誌広告

講演

リコーグループは、これまでも数多くの講演や論文の発表を行ってきましたが、2000年度は、環境政策を官民一体で検討する私的懇談会「二十一世紀『環(わ)の国』づくり会議」で、桜井社長がプレゼンテーションを行うなどリコー経営トップ層自らが、循環型社会づくりや環境保全のための情報発信を積極的に行いました。ほかにも、企業での講演会や学会、シンポジウムなどに、社会貢献の立場から積極的に参加し、グリーンパートナーとのコミュニケーションの場を広げています。



日経BPセミナーで講演する桜井社長

主な環境講演(リコー)

項目	数
1999年度	43
2000年度	66

リコー社会環境本部が関わった主な項目を集計、この他に社内各部門で行っている活動があります。

展示会

リコーは、「エコプロダクツ展」など展示会での環境活動の紹介や、製品の環境性能のアピールも積極的に行っています。エコプロダクツ展2000では、「imagio Neo*1」「消せるコピー*2」「循環型エコ包装*3」などが注目を集めました。

*1 36ページを参照。

*2 37ページを参照。

*3 33ページを参照。



エコプロダクツ2000